

議長（倉又 稔君）

伊藤議員。

12番（伊藤文博君）

考えていっていただけるということで、ぜひお願いをします。そうすれば、糸魚川市も変わるかもしれません。

最後にある方の話ですが、組織がうまくいく3つの法則とあるんですね。この人の経験から来てるんですね。この人は、いろんな事業主とかかわってきての経験則なんですけど、1つ目、うまくいく組織はリーダーが自責主義。自分に責任がある。2つ目、うまくいく組織はミスはあるものとして動いている。ミスがあって当たり前だからということですね、さっき言った話です。3つ目は、うまくいく組織は仕事のための仕事をさせない。報告のための報告、会議のための会議ではなくて、実効性のある仕事をさせるということだそうであります。

ぜひとも、糸魚川市が今、置かれた非常に厳しい状況を踏まえて、今後に向けて新しい体制を構築していただくことをお願いしまして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、伊藤議員の質問が終わりました。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。〔6番 保坂 悟君登壇〕

6番（保坂 悟君）

公明党の保坂悟でございます。

通告書に基づき1回目の質問を行います。

1、権現荘の経営について。

(1) 支配人の民間登用の意義と雇用契約内容について。

支配人採用時、経歴に赤字収支の改善実績はあったか。

民間登用の目的は民間手法による収支改善でよいか。

月額報酬60万円の役割と責任は何か。

(2) プロの契約支配人としての能力について。

収支改善するための支配人が収支管理をしないのはなぜか。

支配人が行う飲食サービスの記録がないのはなぜか。

棚卸しの未実施・売価変更伝票がないのはなぜか。

支配人の客室使用や飲食の記録がないのはなぜか。

支配人の7年間のリスク管理の状況はどうか。

支配人の7年間の労務管理の状況はどうか。

今回の内部監査報告、公の施設指定管理者選定委員会の報告、民間による経営診断の中間報告で多くの指摘があるのはなぜか。

(3) 市長（能生事務所）の管理監督責任について。

各年度の決算時における支配人の能力や資質チェックはどうか。

7年間の1億1,000万円の累計赤字について、責任割合はどうか。

平成24年・25年度以外は雇用契約違反と考えるがどうか。

2、交流人口拡大とまちづくりについて。

(1) 人が集まる楽しい仕組みづくりや仕掛けづくりをするチームの創設と拠点設置についてはどうか。

(2) ポケモンゴー (Pokémon GO) の活用について。

平成26年9月定例会一般質問で、アニメの「妖怪ウォッチ」のキャラクターをジオサイトに出現させるアプリの提案をいたしました。今年7月、その提案した手法によるゲーム「ポケモンゴー」が登場いたしました。社会現象になっております。世界ジオパークの推進にこれらを生かすべきと考えますがどうか。

(3) 既存駅と新設駅の活用について。

駅の付加価値化の推進はどうか。

新設駅の推進と新しい活用方法の研究はどうか。

(4) 高校の魅力化づくりと連携事業について。

未利用魚のご当地グルメの商品開発はどうか。

釣りやマリンスポーツ等の海洋系レジャーの開発はどうか。

ドローンを生かした高校のPR動画の作成はどうか。

(5) 高齢者や障害者が身の丈で活動する施設づくりについて。

可能性を伸ばせる町、できることを生かす町にしてはどうか。

3、日常生活の支援策について。

(1) 補聴器の所得制限付き購入補助について。

治療行為に当たらない高額補聴器購入の支援はどうか。

(2) ポケットカルテと地域共通診察券の研究について。

入院・通院・救急搬送の広域化に伴い、医療の個人情報が共有できる仕組みを推進してはどうか。

(3) ヘルプカードの推進について。

障害者や高齢者などが携帯し、災害時や緊急時に必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするものであります。広く推進すべきと思いますがどうか。

(4) 太陽光パネル型防犯LED街灯の設置推進について。

災害対応として、危険箇所を設置すべきと思いますがどうか。

(5) ひきこもりの現状と対策について。

いじめ・不登校が原因でひきこもりになる方や、社会人になってからひきこもりになった方への支援はどうか。

(6) 新婚生活支援事業補助金の実施についてはどうか。

(7) 生きがいづくりとしての身の丈産業の育成支援について。

野菜や果物・加工品の販売を志す方への加工場等の提供の支援はどうか。

以上で1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、採用時、赤字収支の改善実績については確認いたしておりません。

2つ目につきましては、民間的な経営手法を導入することができる人材として、募集・採用いたしましたものであります。

3つ目につきましては、平成28年度の業務としては、権現荘の管理・運営・職員の勤務及び人事などであり、運営収支の数値目標達成に向け、努力することといたしております。

2点目の1つ目につきましては、修繕費や委託料など、能生事務所で管理をしている支出もあり、全体把握ができないことが理由であります。

2つ目につきましては、支配人の裁量の中で行っていたものであり、今後はやめていく方向で検討してまいります。

3つ目につきましては、公会計において必要なものであったため、棚卸しは年度末のみ実施いたしております。

4つ目の宿直業務につきましては、お客様の安全確保の観点から実施してきており、事務手続はなかったものと考えております。

飲食につきましては、基本的には自費で購入しており、賄いを食べた場合には食事代を徴収いたしております。

5つ目につきましては、防火・防犯や入浴時の事故対策など、現場責任者として指導監督してきております。

6つ目につきましては、労務管理は適正でなかったと考えております。

7つ目につきましては、経理及び労務について管理が不十分であったことや、客室稼働率などが指摘されており、今後、改善していきたいと考えております。

3点目の1つ目につきましては、決算時における支配人の能力や資質のチェックはいたしておりません。

2つ目と3つ目につきましては、運営収支の赤字について、外的要因や市の施策が要因の場合もあり、支配人にのみ責任があるとは考えておりません。

2番目の1点目につきましては、現在、市民や各種団体が主体的にまちづくりの取り組みを行っていただいております。今後も支援してまいります。

2点目につきましては、観光施設や公共施設、駅などにポイントが設置されておりますので、通信環境や安全面などを考慮した上で、ジオサイトへのポイントの設置について、運営会社に提案してまいります。

3点目につきましては、既存駅はその拠点性を考慮した利活用を、また新駅は地元の意向も踏まえながら必要となる機能について、調査・検討をしてまいります。

4点目の1つ目につきましては、海洋高校では地方創生加速化交付金を活用し、地域産業に生かすまちづくりプロジェクトの中で、地元の水産資源の商品開発に向けた取り組みを行っております。

2つ目につきましては、海洋高校と連携をしながら、よりよい体験メニューの開発に取り組んでまいります。

3つ目につきましては、新しい視点からの映像が撮影できることから、高校と相談をしております。

5点目につきましては、あらゆる状況にある方々が、伸び伸びとともに生きていくことのできる社会となるよう施策を進めてまいります。

3番目の1点目につきましては、身体障害者手帳を所有する方、また難視聴児視聴機購入費助成事業の対象児以外への支援については考えておりません。

2点目のポケットカルテの利便性の向上や、地域共通診察券の導入等により、情報共有を図るために医療機関の電子化が必要であると認識いたしております。

3点目につきましては、現在、導入の予定はありませんが、高齢者や障害者にとって有益なものと認識しておりますことから、今後、実施市町村の状況を確認した上で、検討してまいります。

4点目につきましては、電源工事が不要であり、災害時に強いというメリットもあることから、どのような利用ができるか、今後、検討してまいります。

5点目につきましては、ひきこもり解消のため、専門の相談員が相談窓口となっております。また、専門機関への紹介を行うなど、連携をしておりますと考えております。

6点目につきましては、婚姻数の増加には経済的理由だけでなく、就労・雇用環境・子育て環境などの要因もあることから、全体を整理した上で検討してまいります。

7点目につきましては、重要と認識しておりますが、加工品の販売には食品衛生法の許可等が必要なことから、加工場の提供の支援は考えておりません。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

すみません。大きい2番から質問させてください。2番の1番、人が集まる楽しい仕組みづくりであります。

現在、若者会議・チーム糸魚川・各種業者団体・ジオパーク・文化芸術・スポーツというさまざまな切り口で、いろんな取り組みがなされておるかと思っております。ただ、市民の中には、さまざまな趣味を持った方、また個人的に糸魚川を満喫している方など、1つの枠におさまらない分野で楽しんでいる方も、現実、あります。糸魚川で楽しいと思うことや、糸魚川の地の利を生かした楽しみ方を提供したり、実際にやってみたりする人が集まる場所をつくってはどうかという考えであります。現実的な交流人口拡大を模索する、やっぱり拠点というものが何かと思うので、今回、提案させていただきました。今までやってる方は当然なんです、なかなかそういうふうに見えない、個人で楽しんでおられる趣味であったり、取り組みであったりそういったものも、そういった方にも何というのかな、こういうまちづくりに参加してもらおう機会づくりを、ぜひ、考えていただきたいと思うんですが、その辺いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えいたします。

地域づくりというような観点で、確かにいろんな趣味やそういったものを通じての活動をされている方、たくさんいらっしゃると思います。現時点で、そういった方が集まる場所をというようなことまでは、まだ細かくは考えておりませんが、今回、若者の力を活用した会議と、そういったものに対する支援策等も出しました。

これは、若者が糸魚川の歴史や文化、そういったものをテーマにしながら、ちょっと遊び感覚でいろいろイベントをやってもらうものに対する支援であります。あくまでもソフト部分でありまして、ただ、この事業をやっていた方は、若者JAMという名簿をつくらせていただくということで取り組んでおります。こういったものも、また1つの人的資産のデータベースとして、以後の地域づくり等にも活用できればなと思っております。

そういった流れを見ながら、また、集まれるような場所とかそういったものもいろんなところで、新たな施設をつくらなくても、考えられるものあるかもしれませんので、また今後、検討してまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

まちづくりをしていく中で、ある団体に所属してなきゃだめだとか、そういうふうな枠に捉われなくて、自分がこういう考えがあるんだということをアピールできる場所とか、提案できる場所というものをつくっていただきたいという、非常に軽い感じ方で受けとめていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

次に（2）のポケモンゴーであります。

ポケモンゴーについては、各マスコミでも意見が分かれています。歩きスマホによる事故・隠し撮り・不法侵入・交通事故・神社やお寺でのマナー違反などの問題点が指摘されています。

その一方で、このゲームにより、外出できなかった人が外出するようになったとのニュースもござります。ポケスポットという拠点に行くと、ポケモンを捕まえるボールや道具がもらえるという場所が決まっております。それが今、糸魚川で言うと、市役所であったり図書館であったり、また石碑であったり、神社やお寺であったりします。これは、地方における観光拠点として生かすことができます。

先取りとしては、鳥取県がとっとりGOというサイトをつくり、このポケモンゴーと観光施設をタイアップさせて推進をされています。ついせんだっては、横須賀市もポケモンゴーを使ったこの観光の解放区というか、そういう取り組みもされています。任天堂とかナイアンティックという会社が、このポケモンゴーをやっており、本社がある京都府も連携されています。

今、市長の答弁の中では、ちょっと提案を考えているということだったので、ぜひ、ジオパーク、

世界ジオパークですから、ユネスコ公認の世界遺産、また世界ジオパーク両方にわたって、こういうポケモンゴーを結びつけて、若い方から、また子供も含めて、そういうところにどんどん行っていただけるような取り組みをぜひ、展開していただきたいと思います。

これは、要望にさせていただきます。よろしくお願いします。

次、(3)の既存駅と新駅の活用であります。私は以前から提案しているんですが、駅をカフェとかショップとか、展示室にしていく必要があると思っております。大系線、トキめき鉄道ひすいラインにそういったものを設置していただきたいのを強く望むんですが、その辺の考え方、鉄道会社と連携して進めていただきたいんですが、その辺いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長(見辺 太君)

お答えします。

既存駅、あるいは新駅もそうですけれども、いろんな形での利活用というのは、まちづくり、あるいは鉄道の利用促進といった意味合いからも重要なことだというふうに考えております。

えちごトキめき鉄道におきましては、1年前にトキめき鉄道になったばかりでということ、なかなか運行にだけ特化して事業を展開してまいったところですが、最近になって、雪月花の運行もいろんなことをやっていただいておりますし、サイクルトレインの試みとかそういった鉄道事業以外のことについて、いろいろとやっていただいておりますのでございます。

市としまして、まちづくりの観点から鉄道の駅を利用するというのは、非常に重要なことだと考えておりますけれども、そこはやはり、おっしゃるとおり鉄道事業者とともにやることも重要だと思っておりますし、また地域、あるいは民間の方と一緒にやってやることによって、地域全体が活性化していくんだらうというふうに考えておりますので、今後とも、そのように努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

保坂議員。

6番(保坂 悟君)

せっかくの機会なので、2点だけ提案させていただきます。

ジオパークの新潟で、子供たちが遊ぶためにすごろくゲームをされてたんですが、あれをリアルに鉄道でやってみたらおもしろいなと思いました。ぜひ、そのジオパークの関連、その駅にまつわる出来事、またその地域にある出来事を勉強しながらすごろくで、駅行ってまた戻ったりみたいなことを、1日かけて遊んだりするという、そういう駅の活用法。

あともう1点は、全国でも世界でもいいんですが、アーティストに応募をして、お金かかるんですけど、一つ一つ毎年どこか1つ、駅にそのアーティストに設計だとか、駅自体をつくってもらって、そこを作品にしてもらうとか、リニューアルしてもらうとか、そういったものも取り組んでいただくと、駅が一つの芸術品になって、そこに写真を撮りに来てもらうとか、訪れてもらうとかと

いうそういうきっかけづくりを、ぜひ先ほど言った地域・民間、また鉄道会社と連携して、そういったところもちょっと研究していただきたいなということを、要望させていただいておきます。

次に、(4)の高校の魅力化であります。

海洋高校では、地元の海産物のグルメとして、カニ・アンコウ・サザエなど、積極的に推進をしていただき、感謝しているところであります。行政も、よくこの海洋高校に関しましては支援をしていただき、成果を出していただいております。できましたら、この未利用魚の活用として、以前も言ったかもしれませんが、今後、プレス機とかてんぷら鍋とかで、産官学で購入していただいて、イカやタコを目の前でプレスして煎餅にして提供するとか、あとマメアジとかキスなどについても、目の前でてんぷらにして食べさせるような、今、サザエがとりたてのをすぐ食べられるような取り組みをされてますけども、そういった見せ方、食べさせ方というのを工夫していくと、加工過程がわかりやすく、子供受けすると思うんですが、そういうプレス機とかてんぷら鍋とかの提供をして、この高校と連携してにぎわいづくりをしていただきたいんですが、その辺の考え、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長(齊藤 孝君)

市長の1回目の答弁でお話をさせていただきました。今、地方創生の加速化交付金を使いまして、高校生が海外への販路の拡大の調査をしたり、それからレストランのメニュー開発をしたりという取り組みは、皆さんご承知のとおりだと思っております。

今、ご提案のような格好についても、また高校側のほうに話をつなぎたいというふうに考えています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

保坂議員。

6番(保坂 悟君)

続きまして であります。

特に、私が知っているのは能生漁港なんですけども、漁師さんの中にサーフィンとかウインドサーフィンを趣味にしている方がおられます。釣り船を営業している方もおります。そういう方たちを中心に、この漁師の目で見る漁場の海というのもありますし、レジャー業としての観光やスポーツに生かす海という、またこの視点もございます。こういったものを、地元の高校生、特に海洋高校になりますけども、そういう方と議論していただいて、具体的に、この漁港のレジャー開放日の設定だとか漁師の体験観光や、逆に今度、スポーツのこのサーフィンとかをこの糸魚川のエリアで、どういうところでサーフィンしたらいいとか、海に潜る潜水をしたらいいとかというのを議論して、メニューづくりとかをしていただきたいんですが、その辺の考え方、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今、海洋高校との連携と、マリンレジャーの連携とといいますと、海洋高校では毎年2日間、マリンスポーツの集中実習というのをやっております、B & Gの能生海洋クラブの皆さんが講師になってやっているといた取り組みをしております。

こうした取り組みを広げる中で、今、ご提案の部分、いろんな漁師の皆さんとか、海に関係する人たちといったものを結びつけるような取り組みをして、海の魅力アップにつなげていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

次、の3点目です。

地元には3つの高校がございます。行政では魅力化の予算もつけていただいております。

そこで、高校生の寮生活とか部活動の紹介、今、言ったマリンスポーツだとか、あと高校生レストランだとかというものを、積極的に動画を撮って、当然、生徒の了解を得た上ですけども、動画を撮って、広く全国に発信していただきたい。

特に、海洋高校には限ってませんが、糸魚川市としては能生に女子寮の設置もしていただいておりますし、そういった寮生活の楽しい部分とか、あと女子学生のコメントなども入れた動画配信をしていただきたいんですが、その辺、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

お答えいたします。

非常にドローンの普及というのも、非常に多くなってきていると思います。今現在、今、議員おっしゃられましたように、各高校に40万円の魅力化づくりの補助金を、今、交付しております。

高校の中では、ホームページの開始を今、手がけておるといところもございますので、ちょうどタイミングがいいですので、このドローンを活用した動画をホームページに張りつけるなど、そういうものを進めていきたいというふうに話をして、相談をしてみたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

こういう動画をつくっていくという上で、ちょっと気になる点が1つだけございまして、今、海洋高校では男子寮がございます。ただ、お話を聞いていますと、生徒の数に対して部屋数ですかね、ちょっと足りないというような状況を聞いておるんですが、現状、どうなっているのか。要は、動

画に耐えられるだけの状況なのか、ちょっとその辺を教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

お答えいたします。

ご心配ありがとうございます。男子寮につきましては、定員40名のところを、もう50人を超えるというような状況です。2人部屋のところは3人入っておる部屋もございます。そういう意味で、早く、早急に抜本的な改良に向けて、今、担当の先生と、また県当局とも話を進めておりますので、今後、早目に方針を決定して、10月には新しい子供たちの募集に向けて、ちゃんと明確にできるような対応をしたいというふうに思っております。

今、現状の中で、仮にドローンを使ってじゃなくても、子供たちの寮生活をPRするということになると、また学校と相談をして、どういうふうな方法が一番、寮生活が、充実した寮生活を送っているということをPRできるか、また検討してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

ちょっと、数字を聞いてびっくりしました。40名のところを50名ということで、ちょっと余り芳しくないですね。海洋高校に関しましては、特に市外から生徒さん来ていただいております。親御さんのことを考えても、やはりこの定員40名のところで50名というのは、私は、よろしくないと思いますし、多分、動画配信するときもちょっとぎゅうぎゅうに詰まった感じが、どうしてもにじみ出てしまうんじゃないかなというふうに思いますので、糸魚川市には雇用促進住宅も能生にありますし、一時的でもこの10名分ですか、オーバーしているわけですから、緊急対応という形で、ぜひ対応をしてもらいたいんですが、その辺いかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

ありがとうございます。

先ほどもお話ししましたように、抜本的な改革については、新たな寮の建設というものも含めて検討しなきゃならないというふうに思っておりますが、来年度の募集についても、この平成28年度の入学よりも若干ふえるというようなこともお聞きしておりますので、雇用促進住宅や民間のアパート、そういうものも活用する中で、緊急避難的な対応はとらなきゃならないというふうに考えております。

再三申し上げますけど、抜本的な改良に向けて、やっぱり早急に方針を決定したいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

ちょっとくどくなりますけども、行政にお願いすると、先に話を進めていくんで。私、今この10名を何とかしてもらいたいということなんで、そこはちょっと勘違いしないでくださいね。

抜本的な改革も大事ですし、来年度からの新入生の対応も大事です。ただ、今現状10名、今、定員オーバーしているわけですから、そこを何とかしていただきたいことを強く要望しますので、ぜひ、対応をよろしくお願いします。

そういう子たちの、今度、コメントが外にいっぱい出ますからね。海洋高校の寮はよかったよと言うのか、海洋高校の寮は狭かったよと言ってるか、変わりますから、ぜひ、緊急対応をお願いいたします。

1番、権現荘の経営について質問させていただきます。いろいろ前後するかもしれませんが、ご協力よろしくお願いします。

まず、支配人の民間登用の意義と契約内容についてで、今、採用時のことを聞かせてもらったら、赤字収支の改善実績は確認はしていないということでした。支配人を糸魚川市に紹介した人がいるように聞いてはいるんですが、どんな紹介を受けたか、その辺確認させてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

山本総務課長。〔総務課長 山本将世君登壇〕

総務課長（山本将世君）

お答えをいたします。

今、紹介というお話なんですけど、私ども、文書の確認でございますが、当時は公募という形でさせていただきまして、お二人の方から応募があったという状況でございます。その中で選考ということで、現支配人が選考されております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

じゃ、私の聞き取り違いかもしれませんが、私が聞いているには二人、支配人と別にお二人が同時に、権現荘に来られたか何かで、来られたという情報があるものですから、一応言いました。言った言わんの話になるので、またそれはわかりませんが、そういう話がございます。

次に2番目。支配人は、ゴールデンウィーク明け、いわゆるつまり繁忙期の後ですよ、経費削減のためにという理由で、カレンダーに何かバツェンだか傍線を引いて、この期間は宿泊の予約、受け付けないんだみたいな話をされたということは伺っておるんですが、それは事実でしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

調査をして、また回答したいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

ちなみにそれは、民間手法ということでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

それもあわせて、回答させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

支配人が、多分これ宿直しているときだと思うんですが、何かお酒とかが置いてあるところから、お酒を持っていっている場面を見られた方がいるというふうに聞いておるんですが、支払いは後からしてるかもしれませんが、支払いをしてないかもしれないんですけども、そういった勝手にお酒とかワインとか持っていけるような状態に、権現荘はなっているのかどうか、その辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

館内は、支配人はどこへでも出入りできますので、その場所に行くことはできると思いますが、勝手に持ち出したりということは、私は考えられないと思っています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

私も、これ聞き取りの調査でありますんで、また、言った言わんの話になりますけども、そういうお話を伺っておるもんですから、仮にもしその、宿直しているときお酒を飲まれるというお話も聞いておりますんで、そういう場合、どうやって持っていくんでしょうね、夜中とか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

支配人は、その件についても本人に聞きましたけれども、外から買ってきて持ってるんだという

ことでございます。また、支配人は自分の病気のことでもありまして、糖の入っていない無糖のお酒を飲んでいることがありますので、そういう物は権現荘にはありませんので、そういうこともあわせて報告します。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

お友達来たときかもしれませんけども、おつまみ等を売店から持っていくようなことというのは、あったように聞いているんですが、その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

そういうことは、本人は一切、否定しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

支配人は、そうおっしゃられると。私も、聞き取りで、今、言った情報を聞いて、ある意味自信を持って、この場で言わせてもらっております。だから、こういうことを言った言わんの話になると、どうしても百条委員会が必要なのかなという気はしますので、一応ここで確認のため言います。

ちなみにですけど、お酒を持っていく持っていないにしても、そういう状況になってるということを、今、認めただけですから、それやっぱりおかしいですからね。それだけ、ちょっと言っておきます。

あともう一つ、総務文教常任委員会で支配人は、内部告発について指摘された内容のことより、この従業員の告発は何か守秘義務違反であるという認識を表明しました。私、委員ですから、そのときそう言っていましたよ、支配人は。

業務上知り得た情報を、外部に漏らすことはいけません、内部で行われている不正や上司の不正を告発することは、職場や施設の管理向上につながるもので、支配人の認識はおかしいと思うんですが、行政はどのように判断されていますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

内部の秘密的な事項を話するということでの、秘密漏えいという部分の守秘義務はございます。

一方で、公益を保護するために内部通報という仕組み制度もありますので、一概にこの案件は秘密事項だから秘密漏えいに当たるよというふうにはいかないの、その両方の視点で考える必要があると思っておりますので、時と場合と案件によっての話だと思っております。

この間の支配人が言われたのは、そういう意味において誤解を与えるような部分があったのかも
しれないというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

誤解じゃないんですよ。支配人にまつわる内容を聞かれて、それについては従業員の守秘義務違
反と言ったんですよ。それについて、どう判断しているのかって聞いてるんで、別に解説してくれ
と言ったわけじゃないですよ。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

この間の案件については、内部通報のあったことについて、支配人がそのように言われたように
私は記憶しておりますが、内部通報に対する対応でありますので、第三者がそれについて調査の上、
判断すべきだというふうに思いますので、すぐに秘密事項の漏えいだというふうにはならないとい
うふうに受けとめております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

では、あなた方が雇っておられる支配人の認識は間違っているということによろしいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

その案件につきましては、守秘義務ではないと思っております。

ただ、支配人のほうも守秘義務だというふうに断定ではなくて、守秘義務ではないかと思ってお
るようなことを言っていましたので、その辺はちょっと違うかなと思っております。

ただ、守秘義務には該当しないと、私は思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

そういうところで、はっきりきちんと言われたほうがいいと思いますよ。変にかばい立てると、
かえって誤解されますから。行政の判断ですから。いいですか、そこ間違えないでください。

あと、経営立て直しのために4億円のリニューアルをかけて、施設を工事しておるんですが、この設計に当たり、先ほども古畑議員のところでも出てきました支配人の宿泊方法について、協議というのはされてますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

宿泊方法ということでありますけれども、一切、そういう協議はしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

要は、リニューアルに当たって、料理長を初め、従業員の声を丁寧に聞き取って、動線であるとかお客様の対応のしやすさとか、そういった者の声は取り入れてリニューアルされてますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

リニューアル前が、今、レストラン火打の隣に食事どころがあって、夕食・朝食はそちらに運んで召し上がっていただいた。準備して片づけるということで、非常に動線が長いということで、従業員も大変ですしお客様も不便であるということで、そのあたりは改築、リニューアルの中で直していこうと。それを設計の中に盛り込んだということは、間違いありません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

その部屋の数とか、部屋の内容とか、動線ばかりじゃないんですけども、そのリニューアル全体にわたって、みんなで本当に話し合っただけでなく、リニューアル後の施設なのかどうかというのを一番知りたいんですけど、それは間違いはないですか。みんなで話し合った結果の産物が、今の施設でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

設計を組む前には、当然、権現荘の現場と能生事務所、また本庁のほうとも連携をとって協議を進めていきますけれども、現場の権現荘のところは、支配人がそれぞれの部門の長と協議をして、どんなリクエストがあるのか職員から聞いて、そういったものを積み上げたものを、本庁との協議の中に反映していくというやり方であったと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

そのリニューアルは、食の館として客単価の高い料理プランや、朝食の質の向上を目指して勝負をかけてきたと。そういう思惑を反映した設計になっているというふうに理解してよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

リニューアルでございますので、まるっきり更地から建てるわけではありませんので、限界というのはあるんですけれども、一応、食の館というコンセプトに合った、そのグレードを外れないような建物にしていきたいという気持ちがあったようでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

議会から提案されたものについて、そのリニューアルのときに、真剣に協議はされましたか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

私が着任しました平成26年の4月でありまして、それ以前にいろんな要望が入って設計が始まってきたのかなということで、私が行ったときには、もう設計会社が第1回目のプランニング、持ってきておりましたので、そのあたりは、ちょっと私のところではわかりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

議会におきましては、所管の常任委員会のほうに当時、途中段階でのお話を申し上げながら、ご意見をいただいたところであります。ご意見をいただく中で、ちょっと具体的に何が反映されたかというのが、明確にはお答えできませんけれども、ご意見をいただきながら進めてまいりました。全体的な予算の状況もありましたので、全てが全て、反映できる状況ではございませんでしたけれども、そういう中では事前に所管の委員会にお話をさせていただきながら、取り組みを進めてきたものと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6 番（保坂 悟君）

議会からの提案、私もいろいろ提案させてもらってきたもんですからね、特にインバウンドなんかは、かなり前から言ってたつもりなんですけども、要は、そういうのを真剣に協議した経過があるのかと聞いているだけなんですけど。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

インバウンドの部分について、保坂議員のほうからかねがね、何回かはお話があったと思っておりますけど、その施設の今回の改修の部分で、特にインバウンドのために改修を取り入れたというような部分については、具体的にはないというふうには感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6 番（保坂 悟君）

一番聞きたかったのが、今回、行政の中でこの権現荘立て直しに、誰が一番、心血を注いでいますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

現場では小林支配人、それから能生事務所においては能生事務所の当時の所長、あるいは係長が中心になって、設計事務所のほうと話をしながら、たたき台の設計部分をまとめたというふうに認識をいたしております。その後、それらを含めて、市長・副市長、あるいは私も相談に乗りながらまとめていったところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6 番（保坂 悟君）

では、権現荘立て直しの、一番心血注いだのが支配人ということによろしいですか。2 番目に能生事務所長ということによろしいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

現場での動線等、あるいはお客様からの意見等、そういう部分においては支配人が日ごろ感じている部分を、できるだけ取り入れたというふうには感じておりますので、そういう部分については

支配人の考え方が多く反映されたという部分は感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

リニューアルの工事はずっと聞いてきて、私の意見が反映されなかったで、一応終わったんですね。

行政の中で、権現荘の立て直しに、誰が一番心血注いだから聞いてたんです。それで支配人って言ったんです。そしてサブ的に能生事務所長。それでいいですわ。そういう認識なんでしょうから。

もともと行政は、平成20年までには行政で赤字を克服できなかったから、民間の支配人を登用したんですよね。なのに、内部監査や指定管理者選定委員会で、あれだけ指摘を受けているということは、もはや私からすると、支配人としての能力や資質がなかったということが証明されてるんじゃないかと。また、収支会計を見て、修正や改善を行うだけのスキルがなかったんじゃないかというふうに思っています。

さらに、リニューアル後、2,000万円と1,800万円の黒字が、目標設定するなど、今まで、せいぜい頑張っても160万円ぐらいの黒字と十何万円の黒字だったかと思うんですが、それまでは、最初の3年間で7,000万円の赤字を切ってるんですよ。その方が、リニューアル後、2,000万円と1,800万円の黒字を目標設定にしたということ自体が、私には正直言って理解できないんですよ。一体、月額60万円を支払っていた支配人という方は、何者なんですかということなんですよ。行政は、どう判断されますか、この経過を見て。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

支配人が来る背景につきましては、平成18年から、それまでは黒字の状況であったんですが、平成18年以降、19年・20年、非常に赤字が続いた状況でありました。そういう中で、民間的な経営手法を取り入れたいということで、民間人の支配人を募集をし、現在に至ったわけですが、その後、平成21年から23年については、前段の赤字の状況を克服すべきいろんな改善に取り組まれたんですが、結果としては平成23年まで赤字でありました。平成24年・25年と、わずかではありますけれども黒字になったというような状況を踏まえて、当時から指定管理に移行をしようということでの、内部での取り組み・協議を進めておりました。平成24年においては、そういう状況で進めておりましたけれども、なかなか指定管理とリニューアルを同時にやろうというようなお話を、当時の所管の総務文教常任委員会にもお話をしたりして、1年たってまいりましたけれども、そういう状況を踏まえてもなかなかできないというようなことで、平成25年度にリニューアルを先にやった後に、指定管理に移そうという状況で取り組んできたわけがあります。

それで平成27年の8月以降、リニューアル後の1年間の状況については、先ほど来、報告いた

しましたように、見込みよりもずっと少ない金額になっておるかもしれませんが、400万円の黒字という状況で、こういう状況を踏まえて指定管理に持っていく状況ができてきたということで、指定管理に向けた取り組みをしております。そういう中で、一定の状況を小林支配人からはつくっていただいたというふうには認識しております。

ただ、ここまでの間で、いろいろな公の宿としての取り組みに、支配人としても問題点はあったというふうに考えておまして、それらについては先ほど来、古畑議員のご質問にもお答えしたような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

前回6月議会で、金子総務部長は支配人登用の中では、特に営業面、営業的な面、お客をふやす面、そういう面で特に民間的な手法を取り入れて対応いただくようなことを、特に求めて、そのような対応を当初の段階ではしていただき、その後、今日につながってきておるということでありまずと答弁しておるんですね。

それで、支配人は、私、赤字収支の改善に来てると思ってるんですが、その営業面的なお客をふやす面という、その民間手法というのは、今回の支配人の飲食サービスを指しているというふうに捉えていいですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

営業サイドの取り組みについては、今、いろいろ皆さんから言われているお客様へのサービス、それをもってただ、営業面だというふうに捉えているだけではだめだと思います。ほかへの誘客宣伝、あるいは足を運んでの誘客の活動、そういうものも含めた全体的な中での、これまでの支配人の営業活動、そういう取り組みだというふうに感じております。サービスの提供は、その一環として行われたと思っておりますけれども、先ほど来、申し上げておりますように、一定の基準を設けた中で対応すべきだという点については、反省すべき事項というふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

それで、何で私、最初の3年間で7,000万円のことを言ったかということ、金子部長が言うその営業面に関して強調されてるのは、支配人の飲食サービスという裁量権により、リピーターづくりのため3年間、お客にばらまいてきたんじゃないかなと思うんですね。その結果として、3年後にその7,312万3,000円使って、使ったあげく、年平均2,437万円ですよ。食材原価率も3年間の平均で約60%。60%ですよ、3年間平均すると。だから、結果的にそういうお金を使ってばらまいた結果、平成24年度は黒字化にできたんじゃないかな。要は、原価率を下げただ

けですよ、平成24年度は。だって47%ぐらいでしたよね。だからそこには、支配人の努力とか収支の赤字の改善点だとか、見えないということなんです。その辺、どういうふうに認識されますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

全体的に通じる中では、収支の確保について不十分な点があったというようなことで、現時点では受けとめております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

いいですね。簡単に言うと、3年間で7,000万円どぶに捨てて、その4年目にとんとの黒字にしたというだけの話ですよ。それで、支配人の月額60万円じゃないですよ、このときはまだ参事職で5年間1,000万円ぐらいの収入になってたと思うんですね、収入というか所得になってると思うんですよ。その上で、この成果でいいのかと聞いているんですよ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

保坂議員のおっしゃるのは、1つの推測に基づくものでありますので、それについて私たちのほうではどうこうコメントはできないと思っています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

なぜ推測になるかわかりますか。あなた方が、予算・決算の説明をちゃんとしないからですよ。前から言ってるじゃないですか、前回だって。外的要因とか説明して、全然数字的な説明なくて、あげくの果てには売価変更の伝票がない、支配人が飲食サービスした伝票がない、どうやって審査するんですかこれを。そこまで言うんだったらちゃんと出して下さいよ、検討できる資料を。7,000万円ですよ3年間で。それで、平成24年24年、黒字です黒字ですって威張って。とんとはじゃないですか。

はい、説明してください、お願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

合併後の平成18年からの状況については、先ほど申し上げましたけれども、支配人が来て、平成21年からの状況では、前からいろいろ経過の中で、あるいは取り組みの中で、すぐに改善できない、あるいはすぐに変更できない部分もございました。

そのような状況から、例えば平成23年度には条例改正をして、宿泊料金と料理の料金を一体的に以前はプランという形で条例設定しておりましたけれども、それを切り離しまして、宿泊料金のみ条例で規定をし、料理プランをいろいろな形のを組み合わせることによって、それぞれのお客様に対応するような、自由度の高い状況、そういうものをつくり上げていくまで、そういう状況をやっていくまでには、若干の時間がやっぱり手続・仕組み的にかかったというのが、平成21年・22年の状況であったというふうに感じております。

そういう中で、大きい面ではいろんなお話がありましたように、指定管理に向けた取り組みをしていこうというのを、ずっと続けてきた中で、時間がかかりながら今日に至っておりますが、今後は、先ほど来、話をしておりますように、できるだけ早い段階で指定管理に移行をいたして、権現荘の役割をさらに継続して取り組めるようにしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

全く説明になっておりませんよ。だって、伝票がないのはなぜか、そういう数字的根拠がないのはなぜかって聞いているのに、今の答弁何ですか。きちっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

大変失礼いたしました。申しわけありません。

おっしゃられた売価変更伝票等がないというのは、公会計におきましては、そのような仕組みがなく、不要だったというようなことから、今おっしゃられるようなものの書類手続は、なかったものというふうに思っております。

そういう状況の中で、今回、いろんなご指摘を受けて、収支管理の徹底をしていくために、いろんな対応をしていこうということで、損益計算の取り組み、あるいは月ごとの収支管理というものに改善、取り組みをさせていただいておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

糸魚川市の皆さんの年間平均収入というか、それは幾らぐらいかわかりますか。年収で。ざっとでいいですよ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

山本総務課長。〔総務課長 山本将世君登壇〕

総務課長（山本将世君）

手元にそういった資料がございませんので、変な数字言っても、また誤解を招くと思いますので、申しわけございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

唐突な質問ですみませんでした。

支配人の、要は月額60万円、また最初の5年間の1,000万円という所得が、市民から見たら、とてつもなく高い水準にあるということなんですよ。ちなみに、糸魚川市役所の中で、支配人の給料より多い方って何人いますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

山本総務課長。〔総務課長 山本将世君登壇〕

総務課長（山本将世君）

支配人、今、今回は5%減額ということで57万円でございますが、60万円といたしましても、60万円と720万円の年間の収入という形になりますが、通常、共済費とかそういったものを含めてという形になりますと、ふえてる方がいっぱいいらっしゃるんですが、今の60万円につきましても、平成21年の採用当初、参事職相当の給与付の中でほぼ横並びで来ておりますから、そこで課長職より上の方であれば、それより上のほうをもらっていらっしゃる方は、ただ人数的に何人という形まではあれなんですけど。

もう1点、先ほどお話ございました平均月額でございますが、行政職の場合ですと平均給与月額で約30万9,000円という形となっております。

すみません、今、平均年齢が41.11歳ということなんで、その年齢でということでご理解をお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

すみませんね。何でこんなことを言うかということ、結局、行政はまだお給料いいですよ。民間だともっと安くなるはずだと思います。そういう方から見たときに、支配人のお給料に対する仕事の成果と見たときに、とてつもなくおかしいことが起きてるぞとなるんですよ。その認識が行政にありますかって聞いているんです。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

先ほど、総務課長のほうで申し上げましたように、支配人、平成21年当時、登用するときに、市役所内の参事職相当の給与待遇という位置づけで、権現荘の支配人を位置づけておりましたので、そういう中で当時の支配人の給与を決めてまいりました。その後、非常勤特別職というような形で、平成26年以降でしょうか、今のような契約の中身になっておりますが、おおむねその金額も当時の保険料等々も含めた中での金額を準用して勤めておられました。そういう中では、市役所の参事のポジションとしては、平均的なところだという理解でここまで勤めてきたところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

じゃ、聞きますよ。じゃ、その多額のお金を使って、プロの支配人を雇って、民間手法で赤字収支を改善しようとしたときに、公会計でいって言い張ったのは誰ですか、じゃ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

公会計にしようというのではなくて、合併当初以前から特別会計という形で運営をしてきましたので、その状況の中で特別会計という流れの中で進めてきたということでありまして、

その中で、先ほど来申し上げましたように、損益計算というような形のものを示しなさいよということで、平成26年の決算監査の中で監査委員のほうから、そのようなお話もいただきまして、平成27年度の決算におきましては、簡易の損益計算というような形のものをつくってお示しをさせていただいたということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

何言ってるかさっぱりわかりませんが、要は、プロの支配人を呼んで来て、赤字収支を改善するために会計をやらなきゃいけないわけですよ。それをとめたのは誰かと聞いているんですよ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

とめたと、何かおっしゃられますけども、赤字は出さないように進めてくださいよという形の経営の改善については、登用した当初から、そのような形の取り組みをお願いしたわけでありまして、ただ、1年で進んでこなかったのもあります。公会計に示しなさい、そこでとめておきなさいよって、

特別、ブレーキをかけたというような状況はございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

今、とんでもないことを言ってますよ。プロの支配人を高額で雇っておいて、民間手法で赤字改善しようとしているのに、その能力が支配人になかったってことなんですよ、だから。皆さんのやり方で赤字になっているのを、何とか改善したいから雇ってるわけですよ。だから、プロの支配人は、いや、この会計じゃだめですよと、支配人言わなきゃいけないんですよ。わかりますか、言ってること。支配人のほうから改善しなきゃいけないんですよ。

今、とうとうと答弁してますけど、今までのやり方ですって言ったでしょう。行政も支配人も、はなから変える気なかったということですよ。わかりますか、今言ってること。60万円も月額払って、5年間、年間1,000万円払って。改善提案されてないってことでしょ、それ。いかがですか。自分で言ったんですよ、今。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

支配人が就任する以前から、行政の会計システムの中で取り組んできて、じゃ、支配人のほうから公会計はだめで、企業会計にすべきではないかという提案は、特別なかったというふうに思っておりますけれども、行政のほうとしても、今までの中で取り組みをいただくというのを基本ベースに置きながらやってきたところでありまして。現時点で振り返れば、収支のできるだけわかるものを的確に把握するように進めてくるべきではあったという点については、今時点に立てば、おっしゃられるように反省すべき点だというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

じゃ、聞きますよ。支配人はプロとして、飲食サービスの記録を残さないというのはどういうことですか、プロとして。自分の身の潔白が証明できないということなんですよ、伝票がないということは。だだ漏れに使ってしまいましたということ証明できないんですよ、この伝票がないということは。わかりますか。

それで、棚卸しもしてないですよ。在庫管理ができてないということなんですよ。どんだけ仕入れてどんだけ使ったかというのは、ただ、あなた方は年間の収支を見るだけで、それを自分で食べたか人に提供したかわからないんですよ。わかってますか。これが、プロの支配人のやることかって話なんですよ。それに60万円、年間1,000万円払ってきた。それでいいんですかって話ですよ。市民、許しませんよ、そんなの。そこを答えてくださいと言ってるんです。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

伝票がなぜなかったかということでありまして、今になって考えればそうではありますけども、当時、公会計としては必要なかったということでありまして。

また、何で公会計だったんだということでありまして、それは旧能生町の時代から公会計であった。そのときには、ずっと赤字ではなくて、当初は黒字もあったということで、ですから公会計でも黒字にはならないということではなかったということでありまして。

そういったことでもありますので、今これを、現時点で振り返ってどうだこうだと言われましても、公会計でやってきたということだけ、ご理解願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

私は、プロの支配人に能力があったかないか聞いてるだけですわ。それを、あなた方がどう判断したのかと聞いてるだけですわ。過去のことをずっと掘り下げて、長い時間しゃべるのやめてくださいよ。能力があったかないかだけですよ。通告書にもそう書いてある。何を言ってるんだ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほどもお答えさせていただきましたが、やはり我々は赤字を脱却するために、支配人からおいでいただいた部分もございます。そういう中で、今、時間がかかったかもしれませんが黒字化している。

しかしながら、今、ご指摘いただいた点についても、公の施設としてはやはり、問題もあるというのが現状であるわけでございまして、それに対する責任等もやはり、しっかりと見きわめながら対応していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

私、難しいこと言ってますよ。支配人のやってきたいろんな経過を踏まえて、能力があったのかなかったのかって聞いてるだけなんです。これが、一番最後の行政の責任なのか、支配人の責任なのか、この割合に大きく影響があるものですから、確認しただけなんです。それだけです、どうぞ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

公の施設の取り組みの中で、民間手法の取り組みの、なかなか及びにくい部分もあったというふうに思っております。したがって、支配人としては、いろいろと取り組みされた点もあるんですけども、全てが全て支配人が経営管理ができていた部分ではないわけでありまして、当然、行政の内部で統制をしていった部分もあるわけがございますので、その、じゃ、責任割合はどのようになるのかという点については、やっぱり何割、何割というような形での数字的なもので、なかなかあらしにくいというのが現状だと思っております。それぞれの収支の管理であったり営業であったり、あるいは施設の管理だったり労務の管理だったり、それぞれが両方の責任分担の中できみ合っていた部分が多いと思っておりますので、簡単に何割、何割というふうには捉えられません。相互の責任の中で、現在言われているような結果だということだというふうに認識しております。

〔「100%市長だろ」と呼ぶものあり〕

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

そうなるんですよ。結局、管理監督責任で全部、市長に行っちゃうんですよ。

だから、私は、そうは言っても、逆に市長はだまされたのかなと思ってるんですよ、正直言って。そういんですよ、だまされたのかなと思ってるから、支配人の能力についてどうかって聞いてるんですよ。だまされたんなら、それは責任とってもらいましょうとなるけど、行政がそれを認めて、行政も責任ありますと言ったら、全部市長の責任ですよ、これは。重たいですよ。総文か何かで発表するんでしょう、責任。重たいですよ。

だまされたんならわかる。ある方に紹介されて、能力があって、ふたあけてみたら1億1,000万円も赤字つくってしまいました、そんな支配人です。だまされたというのならわかる。わかっててやったなんていったらとんでもない話ですよ、本当に。この真意がわかりませんか、私の。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

支配人に能力がどうのこうのということでありまして、私たちのほうでは、能力そのものではなくて、今回、リニューアル後の1年間の運営収支を初めとしまして、いろんなものを評価をして、総合的に評価をした段階で、不十分であるとか満足できないということで、今回、10月以降の任用については更新しないということで、させてもらったというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

市民の方、誤解されるような答弁しないでくださいよ。私は常に7年間って聞いているじゃないですか。あなた方のこの処分は、1年間のただ赤字か黒字かだけの判断で処分出してるだけじゃないですか。

だったら聞きますよ。7年間トータルしたその責任は、どうとらせるんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、指摘している点だけではなくて、要するに、権現荘全体の一つの流れの中で進めてきた問題でありまして、そして今、部分的には支配人という話もあるわけでございますが、最終的な全ての責任は管理監督のこの責任のある、私だと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

市長、じゃ、責任が100%ありますね。

じゃ、能生事務所長も、私ちょっと疑問があるんですよ。7年間を振り返って、日帰り温泉のほうで、前回の議会で訂正しましたけど9,400万円とかっていう数字と、あと総務文教常任委員会で4,500万円の赤字理由というんですけども、毎年度毎年度、決算・予算組んでますよね。そのときに、燃料費とか日帰り温泉の利用についての赤字分というのが、じゃ、累積してそうなったのかって聞きたくなるんですけど、それ大丈夫ですか、この数字。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

私の計算したのは、結局、手元での試算でありまして、平成22年の12月15日に、当時770円の日帰り温泉入浴、大人の分を、500円にするということで、270円減額したわけですね。本当は3月末でやめるつもりだったんですけども、一旦、またそのときには大震災もあったもんですから、また延長するということで、それがどんどんどんどん延びて、最終的には今現在も270円減額のまま来ているということで、その期間の大人の人数を掛けますと、そういうふうな大きな金額になるんじゃないかということで、これは収入不足になるんじゃないかなということで計算しただけでありまして、今現在はもう、500円でやっておりますので、それをもとに収支というのをやらなきゃいけないなと思っております。

議長（倉又 稔君）

質問の途中ですけども、あらかじめお諮りいたします。このままの状況で進みますと、午後5時を若干過ぎると思いますが、そのような場合も継続して一般質問をいたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

異議なしと認め、そのように計らいます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

今の、能生事務所長の考え方でいくと、いわゆる支配人を守るつもりはないんですけど、政策による赤字分というのは、毎年度どういうふうに出してましたか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

例えば予算ですとか決算の中に、そういうものがどういうふうに入り込んでいるかということには、全く触れておらなくて、結果だけを収支という形で出していますので、因果関係については一切、論じておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

プロの支配人、その会計でオーケー出しましたか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

支配人も職員でございますので、結局は命令には従わなければなりませんし、私もそうですし、上の決定に従って、もうそういう料金でやりなさいという中で、最善の結果を残していくというのを頑張るということしかないわけです。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

市長、確認です。

支配人、非常勤特別職で来られて、この報酬でプロでやられて、政策赤字も自分の責任でとらせ

ていいんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

毎年度毎年度、収支の赤字があったり、このリニューアル後については1年間の収支の状況では、この7月までの1年間では黒字400万円ほどであります。その状況状況に応じた細かい分析を、過去の段階では細かいところの分析まではなかなか、先ほど来、話ありました損益計算書のような形のものをとっていなかったものですから、細かい分析まではできていないということでもあります。そういう状況の中において、じゃ、何割までが政策的な要素で、あるいは何割までの分が運営上の営業収入が少なかった、あるいはコストが高かった、そういう部分については、過去の状況の中ではなかなか分析できる状況じゃなかったということでもあります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

私もし、プロの支配人で入ってきたら、政策赤字はそれ行政の責任ですよ。私、支配人なら嫌ですよそんなの。ただ、売り上げを伸ばすとか人件費を削る、何か節約するとかというのはやりますけど、政策赤字まで自分の成績につけられたら、たまったもんじゃないですよ。でも、糸魚川市はそうじゃないんですね。ひどいな。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

支配人の今までの状況の中では、そういう中での損益分析の政策的な部分、あるいは営業的な部分の分界点が、明らかに決算上できるような状況ではなかったという点がありますので、全体的な中で黒字化を図って経営改善につなげていっていただきたいというような取り組みで、過去の状況ではきてまいりました。そういう中で、リニューアル後の1年間につきましては、損益の分析をできるような形で、企業会計的な損益計算書を簡易ではございますが、つくる中で対応し、改善につなげていきたいということで、指定管理に向けての取り組みをしているところであります。過去の状況については、なかなか公会計の仕組みの中ではそこまでできなかったという点がございました。そういう中で、支配人に取り組んでいただいたということでもあります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

金子部長、今、自分おっしゃったこと、わかっていますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

日帰り入浴料金を下げたのは、政策的なものではないかということでありますけども、当時、平成22年の12月のときには、これにつきましては、その770円から500円にすることにつきましては、支配人も能生事務所も全て承知の上でやったものと思っております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

だから、支配人の立場で経営していたときに、収支を改善しなきゃいけないわけですよ。だけど、支配人の力の及ばないところの固定費であったりとか、その政策上ペレットを購入する代金だとかというのは、支配人の努力じゃ、もうどうしようもないじゃないですか、糸魚川市の政策なんだから。そういう部分の赤字が出たときはちゃんとさっぴいて、成績として評価しなきゃいけませんよということを言ってるだけなんですよ。

だけど、さっきからずっと聞いてると、いやそれはみんな知ってることで、それは公務員だから全部その赤字の責任は支配人にあるんだよと言ってるんですよ。大丈夫ですかって聞いてるんです。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ですから、やはり今、いろいろ皆さんから論議いただいておりますように、公会計のやはりこのまずい部分であったり、またその辺のやはり意思決定がしっかりしていなかったところが、今、ご指摘いただいている点であろうかと思っております。

そういったところの中で、今、ペレットの問題もそうでしょうし、そういったところをやはり、きちっと明確にしながらお互いの立場は明確にしていくことが大切であるわけですが、そういうことをしっかりできるようになるのは指定管理のほうで、もっと明確といたしましょうかすっきりするんだろうと思っております。その辺が、直営という1つの盲点だと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

6番（保坂 悟君）

最後になりますけども、今回のさっき言った責任の配分とかも含めて、きちんと調査する必要があると思うんですよ。各議員からのいろんな聞き取り調査もございます。だからそれ、百条委員会、私は一番照合をとるには、一番いいかと思うんですが、ある程度そこまで徹底してやらないと、

今みたいにすぐ答弁をすりかえたり、違う答弁されたりすると、全然この審査自体が何も生かされませんので、ぜひ、支配人もやめられるわけですから、そこだけはきちんと責任とってもらような対応をお願いいたします。

以上です。

議長（倉又 稔君）

以上で保坂議員の質問が終わりました。

保坂議員の質問が終わりましたが、先ほどの質問の中で答えられない部分が一部あったということで、今、その部分を答弁したいという申し出がありましたので、能生事務所長のほうから答弁してもらいます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

保坂議員の一番最初の質問で、カレンダーにバツテンがついているということで、繁忙期の後に2つぐらいバツテンがついている、これはどういう意味かということですが、これは休日出勤の対応ですとか超過勤務の対応ということも含めておりまして、特に繁忙期というのはもう休みなしで、非常に長い時間働くもんですから、そういった者を休日なりを与えて体を休ませるという意味合いで、なるべくお客様を絞るという意味でバツテンマークをつけてるということですので、ご理解いただきます。

議長（倉又 稔君）

本日はこれにてとどめ延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

午後5時08分 延会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

議 員